

事業名：陶芸文化普及振興事業

主査（セラミックアートセンター）

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。
- ・日曜陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	展示事業数	回	4	4	3	5
活動指標2	教室・講座事業数	事業	27	27	28	20
成果指標1	展示事業入場者数	人	3,239	3,705	4,183	4,000
成果指標2	教室・講座等事業参加者数	人	6,737	7,285	5,740	3,500
事業費(A)		千円	7,465	7,433	7,315	7,837
正職員人件費(B)		千円	6,020	5,611	5,469	5,868
総事業費(A+B)		千円	13,485	13,044	12,784	13,705

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「創作食器展」ほか計5回の展示会実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸指導員報酬 5,188千円 ・展示会経費 755千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
陶芸文化の普及振興
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 ・市民の文化・芸術の啓蒙・普及を目指し、よりよい鑑賞の機会の充実と創作の場の提供のために公共的機関がおこなうことが望ましい。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 ・芸術文化鑑賞の機会と創作の場の提供。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 ・小学校等の団体観覧に伴い、観覧者数が目標を上回った。 ・事業参加者数は減少したものの、広報活動の更なる充実によって、増加の余地を残している。 ・陶芸のみならず、関連する工芸分野の教室や陶器制作と食体験を組んだ事業など展開により幅広いニーズへの対応を試みている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 ・事業の企画・運営にあたって工夫する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 ・17年度に人件費等大幅な経費節減を行った。所定の事業開催には必要最低限の予算額である。 ・受講料の年次毎の見直しを行う。